

Roadmap to 2030

ロードマップ 2030

CGFA Referee Since 2024

CGFA 審判員 2024 年以降



JFA審判委員会のミッション

全てのサッカーファミリーが「フェアで、安心・安全な試合」を楽しめるように、審判員の育成と、競技規則とその精神の理解・浸透を行う。

審判委員会のビジョン2030

普及

すべての選手が試合をプレーできるように、審判員を育成する。

育成
強化

グラスルーツから
トップリーグまで、
すべてのカテゴリーで
審判員がレベルアップする。

競技規則
の浸透

サッカーに触れる
すべての人々へ、
競技規則および
競技の精神の
理解・浸透をはかる。

環境の
整備

審判員が審判活動を楽しめるために、
審判活動を継続的かつ適切に行える
環境を整備する。

トップ
審判員の
輩出

世界のトップレベルで
活躍する審判員を
継続的に輩出する。

CGFA Referee ビジョン

JFA審判委員会のミッション及びビジョン2030に基づき、進化し続けるサッカーに対して公正・信頼を通じた健全な競技環境づくりを目指していきます。

2030島根県かみあり国民スポーツ大会を機運醸成の場として、審判員の普及・育成・強化に取り組んでいきます。

【主要項目】

- ・ 審判インストラクターの活動推進
- ・ 若手審判員の発掘
- ・ フットサルの活性化
- ・ 学連審判部の自立促進
- ・ スポンサーシップの確保・拡充

CGFA Referee 各部会のミッション

強化部会

- ・ トップ審判員を中心とした強化
- ・ 環境改善・ステータスアップ
- ・ トップリーグでの指導強化

女子部会

- ・ トップカテゴリーに向けての強化
- ・ アクティブ審判員の増加
- ・ サッカーに長く携われる環境整備

フットサル・ビーチサッカー部会

- ・ 各県審判員の増員
- ・ 指導者のスキルアップ
- ・ 1級審判員の排出

県委員長部会

- ・ 県アカデミーの充実
- ・ 3級審判員の発掘
- ・ 3級インストラクターの活動



指導者部会

- ・ 2級インスの確保と増員
- ・ 2級インスのスキルアップ
- ・ 2級インスの役割と活動

育成部会

- ・ 学連組織の充実
- ・ 2級審判員のフォローアップ
- ・ 県アカデミーとの連携

フィジカル部会

- ・ トレーニング意識の向上
- ・ 心拍トレーニングの理解と実践
- ・ 生涯スポーツとしての審判

ユース審判部会

- ・ ユース審判員の増員
- ・ 研修の機会増加
- ・ 公式試合での強化

県委員長部会のタスク

CGFA Referee

① 県アカデミーの充実

- ・ 中国5県の情報共有（各県の事情にあった進め方）
- ・ 対象者ユース、女子、大学生など（各種連盟も参加も認める）
- ・ 3級インストラクターの活用

② 3級審判員の発掘

- ・ 2種、3種、クラブ(U-15)のチーム関係者の審判員の発掘、育成、強化、
- ・ 中国5県の情報共有
- ・ 3級インストラクターの活用

③ 3級インストラクターの活動

- ・ 審判員の指導(派遣)
- ・ 研修会、講習会の講師
- ・ SI3級自身のスキルアップ

指導者部会のタスク CGFA Referee

①各県2級インストラクターの資格維持と新規2級インストラクター養成及び認定者の増員を目指す活動と役割

2級インストラクター更新講習会に関わる中国地域エデュケーターとの協力体制を構築する。

- ・各県の指導者部会から1名の責任者(1・2級インストラクター)を選出し、2級インストラクター更新のポイント制に伴う講習会(リフレッシュ講習会等)の開催の準備等を行う。
- ・講習会等を通じて、情報交換等を通じて、各県インストラクターのスキルアップを図る。

②2級インストラクターの指導能力向上と1級インストラクターの輩出に伴う活動と役割

1級インストラクター養成コーストライアルに参加できる人材を育成する。

- ・毎年度末、受験候補を決定し、年間を通して認定試験講習を受ける手助けとなる情報を収集するとともに、各県2級インストラクターの育成に役立てる。
- ・指導実践、映像分析に関する能力向上を図る勉強会を開催する。

③2級審判員の資質と能力を向上のため、各県2級インストラクターが担う活動と役割

ポイント制に伴い、各県の1・2級インストラクターの中から各県エデュケーターを選出し、3級インストラクター向けの講習会を開催のための準備等を進める。(2026年度スタート)

強化部との連携により、各種中国大会に2級・3級インストラクターを割り当て、指導実践能力の向上、評価基準の精査を図る。

- ・審判員への指導実践経験を深める。(各種試合への割当)
- ・指導実践状況の把握(アセスメントレポートの書き方など)



強化部会のタスク

CGFA Referee

① プール候補・カテゴリーⅠ審判員を中心とした強化を中心とした強化

- ・カテゴリーⅠ 審判員の底上げ(スキル・フィジカル)の為の試合数の平等化
- ・セントラルでの強化研修会を増やす
- ・20~30歳までに国際審判員になれる人材の輩出の為の特化した強化
- ・現役Ⅰ級審判員の更なる関わり

② 審判に関わる環境改善・ステータスアップ

- ・研修会や各試合の謝金、交通費の充実 (例:CSL 主審 10,000 円、副審・4th 7,000 円)
- ・新たな環境づくり (例:ジムの低価格提供、治療院等情報提供、審判員の障害保険)
- ・審判に関わる環境改善、ステータス向上の為の予算確保
(例:・スポンサー獲得、各リーグとの協議、審判・INS 登録費の値上げ)

③ 中国3大リーグでの指導強化

- ・CSL、中国大学Ⅰ部、PLはマストでインストラクター派遣の為の予算確保
- ・指導者部会、各県協会と連携してのインストラクター派遣システムづくり
- ・インストラクターへの強化、育成の協力

① トップカテゴリーに向けての強化

- ・ 能力に合ったカテゴリーへの試合の提供
- ・ 中国リーグを担当するトップレフェリーの輩出
- ・ 国際審判員の講演・交流会
- ・ コーチ制の導入
- ・ 上位リーグの試合を割り当てる。
- ・ 各部会に女子担当を配置
- ・ 全国大会に派遣するための指導と強化

② アクティブ審判員の増加

- ・ 種別を越えたカテゴリー・各部会への移行
- ・ 各部会との情報共有
- ・ 他地域との交流の機会を増やす
- ・ 各地域での女子トレセンの活用及びI級女性審判員の派遣
- ・ 女子インストラクターの資質向上と普及
- ・ 帯同審判員からの発掘、育成

③ サッカーに長く携われる環境整備

- ・ 子育てサポート
- ・ 安心して審判に取り組める環境づくり
- ・ 審判謝金のアップ
- ・ 託児所の設営
- ・ ジェンダーレスに対応する部会の設立
- ・ 会場にベビーシッターの派遣
- ・ 育休からの復帰サポート(男女問わず)
- ・ 施設の充実(更衣室など)
- ・ MAP事業の充実(予算化)
- ・ 女子部会と各部会との統合

フットサル・ビーチサッカー部会のタスク

CGFA Referee

①各県審判員の増員

- ・各県での育成普及研修会の開催と各県と普及活動連携強化
- ・新規講習会や昇級試験など、参加しやすく柔軟に開催（各県と開催方法について情報共有）
- ・フットサル・ビーチサッカーの競技についてPR

②指導者のスキルアップ

- ・指導者の活動の場の設定
- ・情報共有の環境を設定（映像クリップの作成と共有）
- ・オンラインによる研修会の実施（年2回）

③1級審判員の輩出

- ・U35の審判員の発掘とスキルアップ
- ・競技規則研修会の実施
- ・フィットネス強化の為、定期的にトレーニング会の実施



育成部会のタスク

CGFA Referee

①学連組織の充実

- ・ 大学サッカー部のみならず、高専、専門学校、サークル、他活動を行っている学生にアプローチできるネットワークづくり
- ・ 学連登録審判員大幅増加を目指す

②2級審判員フォローアップ

- ・ 2級審判員への集合型フォローアップ研修の実施
- ・ 2級審判員へのオンラインによる定期的な講習の実施
- ・ 外部講師による講習の開催

③県アカデミーとの連携

- ・ 各県アカデミーの合同講習会実施
- ・ 各県アカデミー生の交流の創出
- ・ 各県アカデミー生が担当する大会の割当確保



①U-18審判員を増やす

- ・ 4級新規審判講習会の設定を増やす。
- ・ 3級昇級テストの設定を増やす。

②U-18審判員強化研修会の機会を増やす

- ・ 地域でU-18審判員オンライン研修会を年間9回おこない、強化育成を図る。
- ・ 地域の強化研修会(8月)でU-18審判員の審判実技のレベルアップを図る。
- ・ U-12選手権大会(12月鹿児島市)に派遣される審判員に対して1人審判の研修会をおこない、強化を図る。
- ・ 各県で研修会の機会を増やし、U-18審判員の強化育成を図る。

③公式大会での強化を図る

- ・ JFAU-12選手権大会への派遣。(12月鹿児島市)
- ・ 各県のユースリーグ、高体連主催大会での審判(主審・副審)割り当てを増やし、U-18審判員の強化育成を図る。
- ・ 地域で中国PL(通年)や中国高校サッカー新人大会(3月)の割り当てを増やし、U-18審判員の強化育成を図る。



フィジカル部会のタスク

CGFA Referee

①審判員とインストラクターのトレーニング意識の向上

- ・ 審判員の長所と短所を見極めてインストラクターがトレーニングのアドバイスができる環境を作る
- ・ トレーニングの意味と目的を明確にさせる
- ・ 自ら課題を抽出し対策を実践し解決できる自立した審判員の育成

②心拍トレーニングの理解と実践

- ・ 心拍を用いたトレーニングの普及と実践
- ・ トレーニングの効率化
- ・ ピリオダイゼーションの普及と実践

③生涯スポーツとしての審判

- ・ 継続的なトレーニング会の開催による現役世代の拡大と若手の発掘
- ・ 地域、各県アカデミーへの積極的参加
- ・ 各部会・各県との連携

おわりに

「2030年に向けたロードマップ」は、3年を経過した2026年シーズン終了時に成果の検証を行い、内容を見直すこととする。



(一社) 中国サッカー協会審判委員会